

市立の認定こども園・保育所においては現状を分析し、今後の教育・保育に役立てる取組をしています。職員に求められる資質・安全管理・教育・保育の基本を抜粋し表記しております。

令和7年度	職員に求められる資質	安全管理	乳幼児の教育保育内容
精道こども園	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの職員が、こども園で働くことに誇りを持ち、日々の保育を振り返りながら、実践を積み重ね、保育の質の向上に努めている。今後も研修等を通して、職員の資質向上につなげていきたい。</li> <li>職員同士のアドバイスを前向きに受け止める姿勢が見られ、円滑なコミュニケーションが図られている。今後も些細なことでも話し合い、情報の共有を大切にしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内研修会や毎月の避難訓練を通して、災害時や緊急時における自身の役割や備蓄品等について理解している。訓練後には、各自で振り返りを行い、職員会議等で共有をしている。</li> <li>事故防止等の安全面については、改善が必要な内容や課題を職員間で共有し、速やかな改善につなげていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員は、乳幼児期の教育保育が人格形成や生きる力の基礎となることを理解し、子ども一人一人に向き合いながら実践している。</li> <li>発達過程に応じた環境作りや日々の活動計画をたて、より良い成長につながるよう努めている。</li> <li>子どもたちが主体的に活動できる機会を多く設けることで、意欲的に取り組む姿が多く見られている。今後も主体性を大切にしながら、成長を支えたい。</li> </ul>
西蔵こども園	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの職員が、誇りをもち仕事に取り組むことができている。</li> <li>園の規模が大きく、様々な職種・時差勤務の職員も多いが、職種を問わず、職員間のコミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>今後も職員間の連携を密に行い短時間の会議体を活用し、保育の質の向上に努めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練を防災教育の一環として捉え、今年度も計画を立て行った。</li> <li>様々な時間帯に行うことでほとんどの職員が参加することができた。</li> <li>出火場所の想定が重ならないよう一覧表にすることで、様々な状況での訓練を行い、臨機応変に対応できるようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの職員が一人一人の成長過程を理解しながら日々、教育・保育を提供することができるよう努めている。</li> <li>ICT公開・乳幼児理解の研修、園内研修を行うことでより子ども理解を深めることができた。</li> <li>今後もより丁寧な教育・保育を行っていきたい。</li> </ul>
岩園保育所	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの職員が誇りをもって仕事に取り組むことができている。保護者や地域の方とも積極的に会話やコミュニケーションを図るよう努めている。</li> <li>年齢、職種等様々な職員が時間差勤務しているが、配置人数や施設規模的にも職員間のコミュニケーションが取りやすい環境である。行事・保育内容等、様々な話題や子どもの状態を皆で共有しながら進められている。</li> <li>今後も職員間の連携を密に行い、円滑な保育所運営の中で保育の質の向上に努めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常に安全管理・危機管理・防災への意識が持てるよう、毎月の避難訓練で様々な状況を想定している。職員間の振り返りも意識して行っている。時差勤務のため、朝夕などクラス保育時間外にも設定することで、全職員が参加の機会が得られるようにする。急な災害への対応に不安を感じている職員もいるため、状況に応じた対応の仕方や避難経路・備蓄品保管場所の周知に努めていく。</li> <li>ヒヤリハットに係る案件は、速やかに用紙を提出後、職員全員に周知すると共に、その原因と今後の対応策を考えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの成長や発達の過程を理解し、一人一人に寄り添った教育・保育内容を提供できるように努めている。</li> <li>日々の情報や定期的なカリキュラム会議で出された課題を常に共有し、職員間で連携し話し合っていくことを大切にしている。外部研修や講師の指導助言を日々の活動や生活に活かし、教育保育の向上に努めている。</li> <li>子ども一人一人の主体性を育み、楽しんで活動に取り組み保育所生活を送ることができるよう、興味関心に寄り添いながら環境設定を整えていく。</li> </ul>
緑保育所	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの職員が誇りをもって仕事に取り組むことができている。</li> <li>立場、年齢、経験、職種等様々な職員がいる中、誰もが発言しやすい環境を整えられるよう、更に円滑なコミュニケーションを図っていく。</li> <li>職員間で教育・保育内容や子どものこと等を振り返る機会をもち、質の向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害訓練の時間帯などで参加できない職員も少数いる。災害訓練の実施時間などを工夫するなど多くの職員が対応できるようにする。</li> <li>保護者への引き取り訓練などが実施しにくい、引き取り訓練の依頼の練習など多方面で取り組んでいきたい。</li> <li>災害時の備蓄品の所在を100%の職員がわかるように努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの職員が子どもたちの成長発達段階を理解し、一人一人に寄り添った教育・保育内容を提供できるように努めている。</li> <li>乳幼児の体づくりのため、研修の機会を設け、職員が学ぶ機会を設けた。また、学んだことを職員が実践することで、子どもの体幹機能が向上していると感じ、保育の質の向上にも繋げている。</li> </ul>